

第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

平成29年 8月 8日 (火)

岡山ロイヤルホテル 2階 光楽の間

〔午前〕研修

演 題 『感染対策のポイントを学び多職種と連携する』

講 師 岡山旭東病院 看護次長

感染管理認定看護師・特定看護師 菅田 節子 氏

〔午後〕講演

演 題 『ケアのこころ ～介護の基本～』

講 師 川崎医療短期大学 医療介護福祉科

教授 山田 順子 先生

(一社) 岡山県病院協会

(注：類似した感想はまとめています。)

第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（平成29年8月8日）

（ 89病院 216名 出席 ・ 209名 回答 ）

1. 研修『感染対策のポイントを学び多職種と連携する』を聞いて。

（講師：岡山旭東病院 看護次長 感染管理認定看護師・特定看護師 菅田 節子 氏）

A.

a. 大変勉強になった (144名)	a. 大変分かりやすかった (98名) b. 分かりやすかった (35名) c. 少し難しかった (10名) 分かりやすかったが、少し難しかった (1名)
b. 勉強になった (65名)	a. 大変分かりやすかった (8名) b. 分かりやすかった (43名) c. 少し難しかった (7名) e. 普通 (6名) 未記入 (1名)
c. 勉強にならなかった (0名)	
d. 全く勉強にならなかった (0名)	

未記入 0名

B. 感想があれば一言。

- ・ 勉強になった・大変勉強になった(2)
- ・ いろいろな事を勉強できて良かった
- ・ 分かりやすかった(4)
- ・ 明日から気に掛けて行動していきたいと思った(3)
- ・ 分かりやすく勉強になった(2)
- ・ 一つひとつに理由があり、とても分かりやすかった
- ・ 実例もあり分かりやすかった
- ・ まだ駆け出しなので、いろいろな知識を学べた
- ・ 資格を持っていないので参考になった
- ・ 明日から使えることもたくさんあり、内容も分かりやすかった
- ・ 初めて研究会に参加して、知らなかった知識も身につく勉強になった
- ・ 内容がたくさんあり過ぎて少し早くついていけないところもあったが、分かったこともたくさんあり嬉しかった
- ・ 少し聞き取れない部分と資料にないものもあり、もっと学びたいと思ったが、今まで理解できていなかったことが少し分かり嬉しかった
- ・ 院内の研修だけでは分からなかった詳しい部分まで知ることができた
- ・ 難しく感じたが、図があったので分かった。ありがとうございました
- ・ 実際に汚染していく過程が見られたブルーライトの動画が分かりやすかった
- ・ 現場で行うには少し難しい点もあるが、参考にして少しずつでも実践していきたいと思う
- ・ 明日から職場で役立てそう・生かしていきたい(3)
- ・ とても為になった。帰って病棟に伝えたい
- ・ 共有できるように伝えていきたい
- ・ チームで共有し明日からできることを実施しようと思った
- ・ 病院で実践していく(2)
- ・ これからの仕事に役立てていきたい。いいお話だった
- ・ 理解したので実践!!
- ・ 日々の業務に役立つことが多くあり、とても良かった
- ・ 再認識できた(2)
- ・ 自院での勉強会を思い出し、再度確認できた
- ・ 感染について、よく分かった・より詳しく分かった(2)
- ・ 感染対策の基礎を分かりやすく講演いただき、ありがとうございました
- ・ ワクチン接種の大切さや感染予防の基本がとても分かりやすく、勉強になった

- ・ 感染対策について、改めて勉強になった・改めて確認できた・復習できてよかった(3)
- ・ 感染対策（消毒等）について疑問が多くあり、勉強ができてよかった。ありがとうございました
- ・ 奥が深く、定期的に勉強し、感染対策することが大切だと思った
- ・ 感染対策について、今一度考えさせられた時間だった。対策を確認し直していきたいと思った
- ・ 近年、いろいろな菌・感染病原体が増え、その対策等が学べた
- ・ それぞれの感染症を詳しく知ることができ、勉強になった
- ・ 今まで以上に気をつけたいと思う
- ・ 職場で改善すべき所が沢山あると感じた
- ・ 日頃の自分を振り返る機会となった
- ・ いつもの自分の行動等、考えさせられる内容だった。良かった
- ・ できていないこともあったので、明日から実践する
- ・ 今自分が行っている方法が間違っていたことがあった。明日から改めたい
- ・ 日頃できていないことが多いことに気付かされた。この講習を役立てたいと思った
- ・ 感染を広めないよう、学んだことを実行して気をつける
- ・ 知らないうちに感染していると思うと本当に怖いと思った。感染対策をきちんとしようと思う
- ・ 感染の怖さを痛感し、今までより注意しなくてはと思った
- ・ 針刺し事故の話で、身近にこんな事があるのかと怖くなった。ワクチン接種は大切だと思った
- ・ 新しい情報を勉強し、自分・家族・職場を守り、無駄なく必要な予防を行えたらと思う
- ・ 院内の勉強会とは違い、感染対策の必要性を感じた
- ・ 日頃の対策が大切だと思った。ありがとうございました
- ・ 日常的な感染予防の大切さを実感した
- ・ 大丈夫だと思っていた感染も、気をつけなければいけないと思った
- ・ 自分自身が感染経路・媒介者にならないように気をつけようと思った(3)
- ・ アウトブレイクになってから対策するのは遅いが、なかなか習慣づかないので、意識して毎日取り組みたい
- ・ 自分の身は自分でしか守れないと改めて思った
- ・ いかに手指衛生が大切か改めて分かった。環境整備も怠らず毎日務めてやろうと思った
- ・ 手指消毒、分かっていないことや完全にできていない部分があり、今後一つひとつ気をつけていきたい
- ・ 手洗い・手指消毒がとても大切だということが、分かった・改めて勉強になった(5)
- ・ 手洗いが完璧なら施設の感染対策は90%が成功、がとても印象に残った
- ・ ケア前の手洗い・消毒をしていなかったので実施していきたい
- ・ 石けんをつける前に流水を手にかける！気をつけようと思った!!
- ・ 手指消毒の必要性、个人防护具の使用方法が理解できた
- ・ 手洗いの大切さ、マスク・エプロン等の修理の仕方など考えることができた
- ・ エプロンの付け方をもう一度やってみようと思う
- ・ 防護服を実際に行えたことが、自己の振り返りや学びになった・とても為になった(2)
- ・ 防護具の装着方法の見直しになった。感染に対してより意識して周囲に伝えたい
- ・ エプロン着用の手順など、初めて表と裏があることを知った。もう少し時間があればもっとお話を聴きたかった
- ・ エプロンの付け方をとても詳しく教えていただき、理にかなった説明だと思った
- ・ 間違ったエプロンの付け方をしていたので、大変勉強になった

- ・ エプロンの付け方が違ってることが分かった
- ・ エプロン・マスク等の着脱が少し違っていたので、再度確認しながら仕事をしていきたいと思った
- ・ “多職種と連携する”ところでは今いち連携が分からなかったが、Nsの指示に従って気をつけたい
- ・ 大変勉強になったが、テーマにある「多職種との連携」は今いちよく分からなかった
- ・ 内容が多すぎて多職種連携が手薄になったのが残念だった
- ・ 多職種との連携について詳しく聞きたかった
- ・ 話すスピードがとても早くてついていくのが大変だったが、その分集中して聞いた
- ・ 資料の写真が見えにくい
 - ・ 内容が多すぎた
- ・ 少し早かった
 - ・ 早口で聞き取りにくかった
- ・ 時間に余裕を持って講義していただきたい
- ・ とても聞きやすい話し方と内容で、時間が足りなくて残念だった
- ・ とても良かったが、時間が足らず最後が早足になったのが残念だった
- ・ 時間がなくなってしまい途中DVDが見られなかった。何のDVDだったのか？と気になってしまう
- ・ 時間の都合で、最後の方はパパパーと流した感じになり少し残念だった
- ・ 内容はとても良かったが、早口で聞き取れない部分が多くあった
- ・ 専門的な言葉が多く早口だったので、勉強していない自分には少々難しかった
- ・ 時間が足らず最後の方がスピードアップして話されたので、詳しく聞きたかった(3)
- ・ 時間が足りず、疥癬の内容もしっかり聴きたかった。今年病棟で発生したので
- ・ 最後の方の疥癬について、ゆっくり詳しく教えてほしかった(2)
- ・ 時間内に全て終わらせてほしかった、最後の方が早口で分かりにくかった
- ・ ほとんど知っていることで、5000円が高く感じた。病院の研修より内容を煮詰めてほしかった

2. 研修『ケアのこころ ～介護の基本～』を聞いて。

(講師：川崎医療短期大学 医療介護福祉科 教授 山田 順子 先生)

A.

a. 大変勉強になった (134名)	a. 大変分かりやすかった (108名) b. 分かりやすかった (15名) c. 少し難しかった (9名) d. とても難しかった (1名) e. 普通 (1名)
b. 勉強になった (72名)	a. 大変分かりやすかった (11名) b. 分かりやすかった (45名) c. 少し難しかった (12名) e. 普通 (4名)
c. 勉強にならなかった (1名)	e. 普通 (1名)
d. 全く勉強にならなかった (1名)	未記入 (1名)
未記入 (1名)	a. 大変分かりやすかった (1名)

未記入 1名

B. 感想があれば一言。

- ・ 大変勉強になった
 - ・ 知らないことがあり勉強になった
- ・ とても良かった(2)
 - ・ 大変分かりやすく為になった
- ・ なるほど、と思った
 - ・ とても聞きやすい話し方で良かった

- ・ 介護に対する思いが強いのだなと思った。分かりやすく記憶に残りやすいものだった
- ・ 楽しかった(4)
 - ・ 楽しい研修だった。学生になった気分だった
- ・ 眠くならず楽しかった・大変良かった(2)
 - ・ 今回2回目。いつもパワフルで勉強になる
- ・ 初めてだったが、楽しく良い体験ができた
 - ・ ゲームなどがあり、楽しく学ぶことができた
- ・ 眠くならず、他の病院の方ともお話しできて良かった
- ・ 楽しく、学べた・参考になった・勉強ができて良かった(9)
- ・ 楽しく、いろいろなことに気付かせてもらえてとても良かった
- ・ 初心に戻って仕事したいと思う
 - ・ 介護の基本を振り返ることができた
- ・ 介護の基礎を学べて勉強になった
 - ・ 明日からのケアに役立てたい
- ・ 明日からの業務に役立つ話だった
 - ・ 見直したい
- ・ いろいろ考えさせられる良い講習だった
- ・ いつもの自分の行動等、考えさせられる内容だった。良かった
- ・ 対人間の仕事は奥が深く、まだまだ知らないことが多々あると思った
- ・ 介護と倫理の言葉の意味、説明の難しさ、人の気持ちを読み取る難しさ、耳を傾ける必要性が分かった
- ・ 他の人とコミュニケーションができて良かった(2)
- ・ 参加者ともコミュニケーションできたが、もう少し時間があって交流できたらいいと感じたりもした
- ・ 初対面の方と話す機会はなかなかない事なので、とても新鮮な体験ができた
- ・ 沢山の同じ仕事をしている人と話せて良かった(2)
- ・ 他の人と話しながらできて良かった。少し難しかった
- ・ いろいろな意見が聞けて、良かった・参考にしようと思う(6)
- ・ 他の人の意見も聞けて、楽しく勉強になる時間だった・良かった・大変参考になった(3)
- ・ 事例を基にグループワークを行い、有意義な意見交換ができた
- ・ グループワークはお互いの考え方を知る良い機会になった
- ・ グループワークで他施設の方の意見も聞けて良かったが、少し難しかった
- ・ グループワーク・他の人との討論で、いろいろな考え方を知ることができた(2)
- ・ グループワークで価値観の違いや人に対する接し方が学べた
- ・ グループワークで他の方と話すことができてとても良かった。当たり前になっていたことを考えさせられた良い時間だった
- ・ 個々の考えの違い、働いている施設のの違いで考え方が異なり、いろいろな考えや思いを聞けて勉強になった
- ・ 他施設の方と交流でき、患者さんに対していろいろな気持ちを汲み取りながら接している姿が励みになり、この仕事のやりがいに気付いた
- ・ 病院によって違うことが分かった
 - ・ 自分で考えて、人の意見も知れて楽しかった
- ・ グループワークで知らない人との自己紹介は恥ずかしかった
- ・ 絵を描いての自己紹介が面白かった。絵の表現に苦戦した
- ・ 話し合いがあり、初対面の人の意見を聞く(話す)ことができ楽しかった(2)
- ・ グループワークがあつて、楽しめた・楽しく研修できた(6)
- ・ グループワークで分かりやすかった。昼からあつという間だった
- ・ 実技があり、対人関係の育成に今後使用していきたいと思った
- ・ 演習をしながら学習でき、他の方とも意見交換ができたので、視野や想像力を養えた。ありがとうございました

- ・ 伝達トレーニングで“伝える、聴く”を実際にやって良かった。仕事でも耳を傾けていきたいと思う
- ・ 伝達トレーニングで、いろいろな見方・接し方がある。視野が広がった
- ・ 伝達トレーニングは、書き手も話し手もどちらも難しい
- ・ 相手に正確に言いたいこと（思い）を伝える難しさをつくづく感じた
- ・ 人とコミュニケーションをとることは大変努力のいることだと思った。自分自身のコントロールを頑張らないと、と思った
- ・ 多職種に正確に伝える力をつけていきたい
- ・ 伝える力の大切!! 改めて感じた!!
- ・ 伝えることの難しさが分かった(4)
- ・ 言葉はとても難しい
- ・ 人の感情は難しい。一言で傷つくし、怒るし
- ・ 言葉だけで伝えることの難しさがよく分かった(5)
- ・ 自分の説明が下手だということが分かった。人によって受け取り方が様々だと分かった
- ・ “伝える”ことは難しい。伝え方、相手の気持ちを理解できるように、相手の思いを汲み取れるように
- ・ 思いやりを持って、利用者さんに合った言葉掛けが必要だと感じた
- ・ 一つの言葉で感じ方や伝わり方の違いを知る。「いつもと違う」変化を多職種に伝えることの大切さや正確に伝えることができる介護士でありたい
- ・ 伝えるということは、単に言葉だけでなく表情や口調・速さも大切だと分かった
- ・ 言葉だけでは伝わらないため、視覚が 55%なので書いたりして工夫したい
- ・ 自分は結構テキストで、言葉に説得力がないと痛感した
- ・ 一人ひとりの考え方・捉え方の違いがあるので、言い方の必要があると思った
- ・ 二人一組のジェスチャーは難しかったが、相手に説明をする力を付けなければと改めて思った
- ・ 「ジェスチャー(?)を使わず伝えるゲーム」が面白く、いかに言葉で伝えることが難しいか分かった
- ・ 仕事に追われて、額面だけの言葉を受け取りやすい自分自身の欠点に気づかされた
- ・ 受け取る言葉をしっかり考えたい
- ・ 利用者さんへの関わり方が分かった
- ・ 患者に対する接し方と、自分自身の気持ちの持ち方が理解できた
- ・ いろいろな考えがあること、患者様（人）に対して誠実である人間になりたいと思う
- ・ 相手の思いを汲み取る・読み取ることは難しいと改めて感じた(2)
- ・ 心の中は人それぞれ違うということを学べた
- ・ 人と人とのコミュニケーション・患者さんとの関わりあい、本当に奥が深く難しいことを改めて思った。これからも沢山いろいろな思いが出てくると思うので、心のケアを頑張りたいと思う
- ・ 患者さんの心に寄り添って介護をしていけたらと思った
- ・ 患者さんの一番近いところにいる自分達が、何でも気付いてあげることが大切なのだと思った
- ・ 患者さんにもっと丁寧に接しなくてはと思った
- ・ 患者さんの心の奥を読み取りながら、関わっていこうと思った
- ・ 傾聴・共感を大切にしていきたい。患者さんの心の奥に隠れている気持ちを理解できるように心掛けていきたいと思う
- ・ 受容の大切さ。言葉の奥にある気持ちを聴く大切さを学び、今後の業務に生かしていこうと思った
- ・ 患者さんの心の声を聴くことの大切さを学べた
- ・ 患者さんの本当の思いを考えて分かってあげるように頑張る
- ・ 患者さんの本当の気持ちを理解するのは難しいと思った
- ・ 裏に隠されている言葉に気付く自分になりたい

- ・ 相手を思いやり、相手が考えていることをいかに的確に読み取ることができるかがとても大切だと再確認できた。今後もしっかり他者と関わり、コミュニケーションの向上を目指していきたい
- ・ 言葉の奥にある気持ちに気づいていける職員になりたいと改めて感じた
- ・ いろいろな患者さんがいる中で、一人ひとりの言葉の奥にある気持ちを聴けるようになる
- ・ 言葉の奥にある気持ちを聴くことの大切さが分かった
- ・ 言葉の奥に隠された気持ちを改めて考え、介護しなくてはと思った
- ・ 言葉の奥を読んで察して患者さんと会話をしていくこと。深いなあと感じた。頑張りたいと思う
- ・ 患者さんの気持ちになって考えることの大事さが分かった(2)
- ・ 患者さんとの日々の関わりを大切にしたい
- ・ 自分にできることをもっと探していきたい
- ・ 患者さんのこと、自分のこと、どちらも大切にしたい
- ・ 介護職の難しさがよく分かった
- ・ 少し時間が足りないかな？もう少しいろいろな話を聞きたかった。現場でのお話など…。情報を提供したかった・良い話も聞きたかった（体験）
- ・ 絵を描いて自己紹介するのは楽しいが…。服にインクが飛び散ったので次回は「色えんぴつ」にしていただけたらと思った
- ・ 研修で同じ勉強をした

3. 今後勉強したいこと、聞きたいこと等、希望する研修内容があればご記入ください。

- ・ 感染をもう一度
- ・ 感染対策などについて最新の情報を学びたい
- ・ 感染予防は、命に関わるので、今後も勉強していきたい
- ・ 自分では気づいていないところで感染の危険がある、というのを教えてほしい
- ・ 感染したら何が必要か？（道具）、何に気をつけるか
- ・ 流行性の感染ウィルス（今なら、手足口病・〇〇結膜炎 etc）
- ・ 介護・看護技術（オシメ交換、拘縮のある人・身体の動かない大きい人の介助の仕方）
- ・ ケアについて
- ・ 食事全般（食介・嚥下）が知りたい
- ・ 食事介助の仕方
- ・ 介助の仕方（食事介助、車椅子への移乗の仕方など）
- ・ 食事介助・嚥下
- ・ 移乗の仕方、食介（身体をどの位起こしていいか）
- ・ 口腔ケアの再確認など
- ・ 経管栄養を行っている患者さんの状態の把握と観察
- ・ エンゼルケア
- ・ 認知症の方に落ち着いてもらうための具体的な方法
- ・ 終末期での関わり
- ・ 入居者（高齢者・認知症）を想定した、実践的な声掛け研修
- ・ 認知症(2)
- ・ 若年性認知症
- ・ 認知症の方への対応(4)
- ・ 抑制について
- ・ 急変時対応
- ・ 廃用症候群予防
- ・ 寝たきりの方へできること
- ・ 患者さんの変化に気づく力を身につけたい
- ・ コミュニケーション方法
- ・ コミュニケーション力を上げるような研修
- ・ いろいろな状態の患者様とのコミュニケーション方法
- ・ マヒ等で話せない患者様に対する心の寄り添い方、気持ちの読み取り方
- ・ 末期の方との関わり方、接し方、コミュニケーション、傾聴を学びたい
- ・ 言葉、表現の仕方を学び、自分のものにしたい
- ・ (介護福祉士としての)リーダーを上手にするには
- ・ 後輩の育成
- ・ 心が休まるインテリア、掃除の仕方など
- ・ メンタルヘルスについて
- ・ 演習がある「危険予知」
- ・ 接遇研修
- ・ 事例、検討など
- ・ 看護師との関わり方
- ・ 同じ補助者さんの話も聴いてみたい

